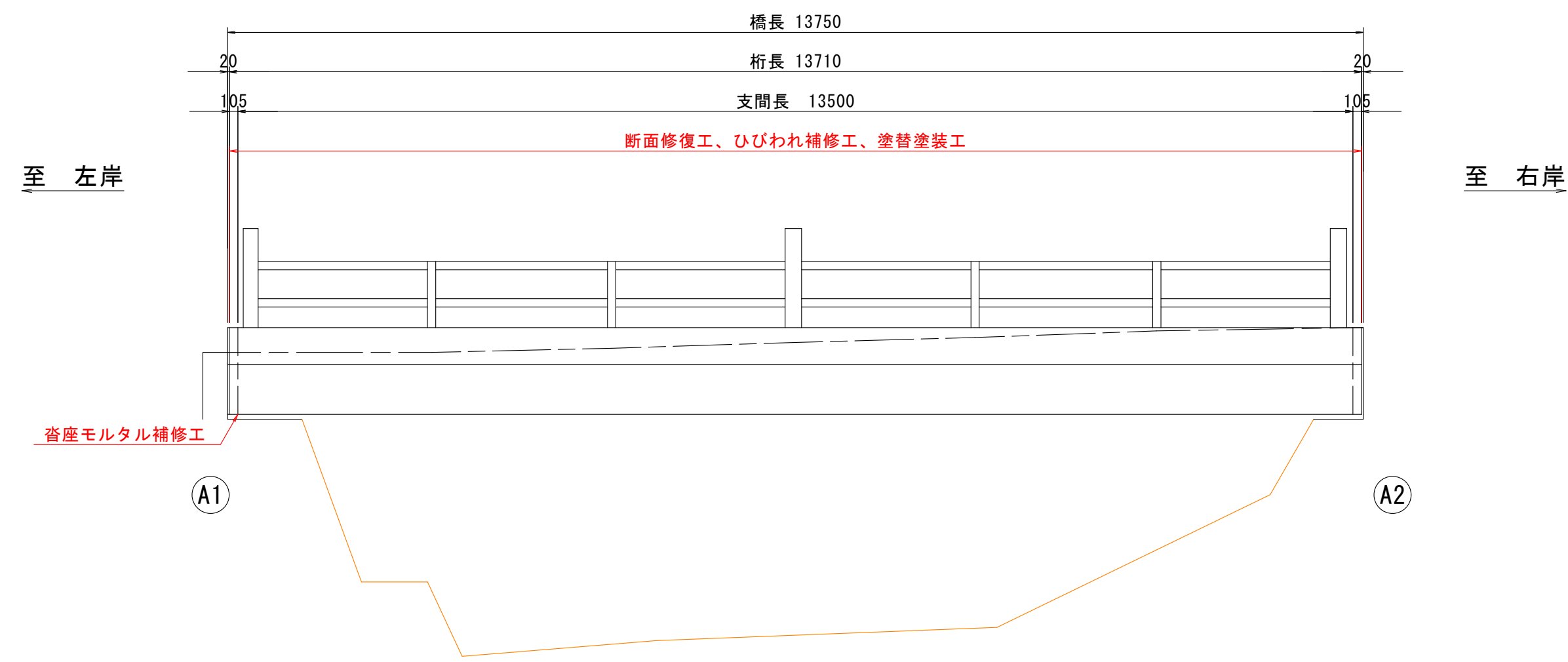
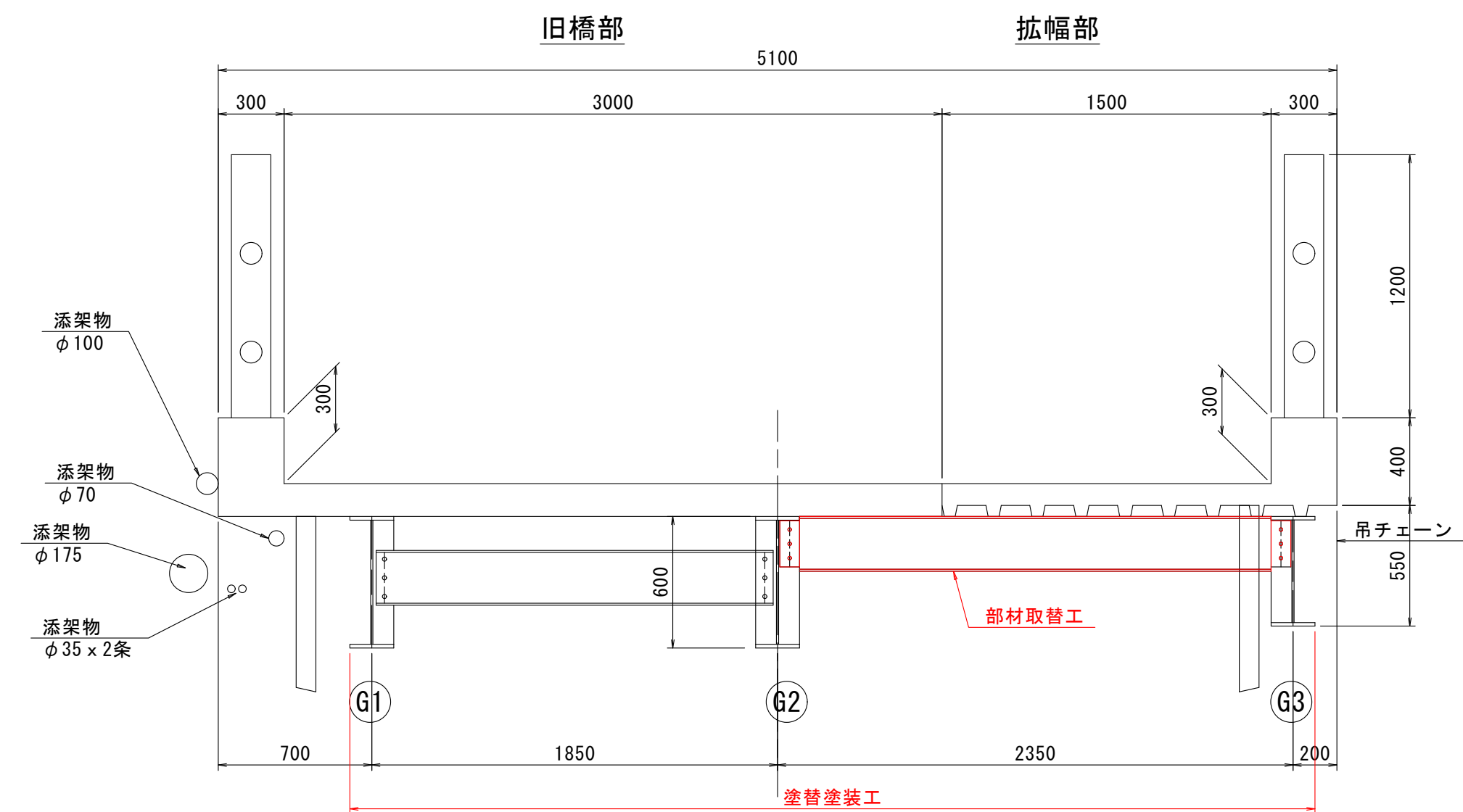


補修一般図 S=1:60

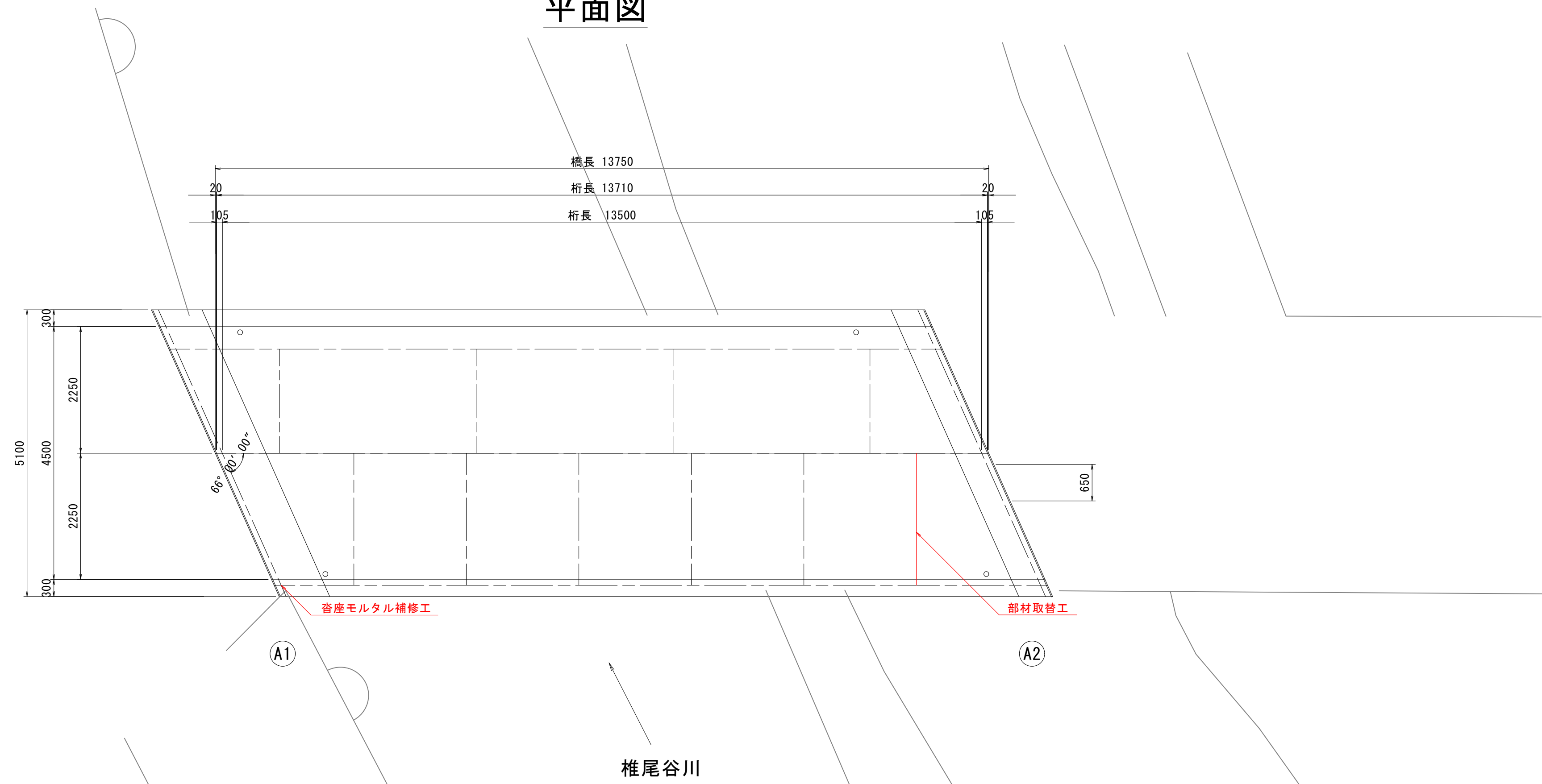
側面図



断面図 S=1:25



平面図



【橋梁諸元】

項目	諸元	上部工形式	鋼溶接橋 鋼桁橋 (その他)
橋梁名称	板東阿部線1号橋	下部工形式	重力式橋台2基
所在地	(自) 徳島県鳴門市大麻町板東	基礎工形式	不明
	(至) 徳島県鳴門市大麻町板東	設計荷重	-
路線名	板東阿部線	適用示方書	-
管轄	徳島県鳴門市	架設年度	不明
橋長	13.75m	交差物件	椎尾谷川
径間数	1径間	添架物	水道管、その他不明管
幅員	全幅: 5.10m、有効幅員: 4.50m	緊急輸送路の指定	無し
	地覆0.30m+車道4.50m+地覆0.30m	補修履歴 (点検履歴)	2014年: 定期点検 2019年: 定期点検

【補修項目】

工法	部材	規格
断面修復工	上部工	
ひびわれ注入工	下部工	
塗替塗装工	上部工	Rc-II (塗膜剥離剤)
部材取替工	横桁	
沓座モルタル補修工	支承本体	

注記
 1. 本図面は、既存資料を基に現地計測やスケールアップ等にて図化したものである。
 2. 詳細な寸法等に不明箇所がある為、必要に応じて再計測等を実施すること。

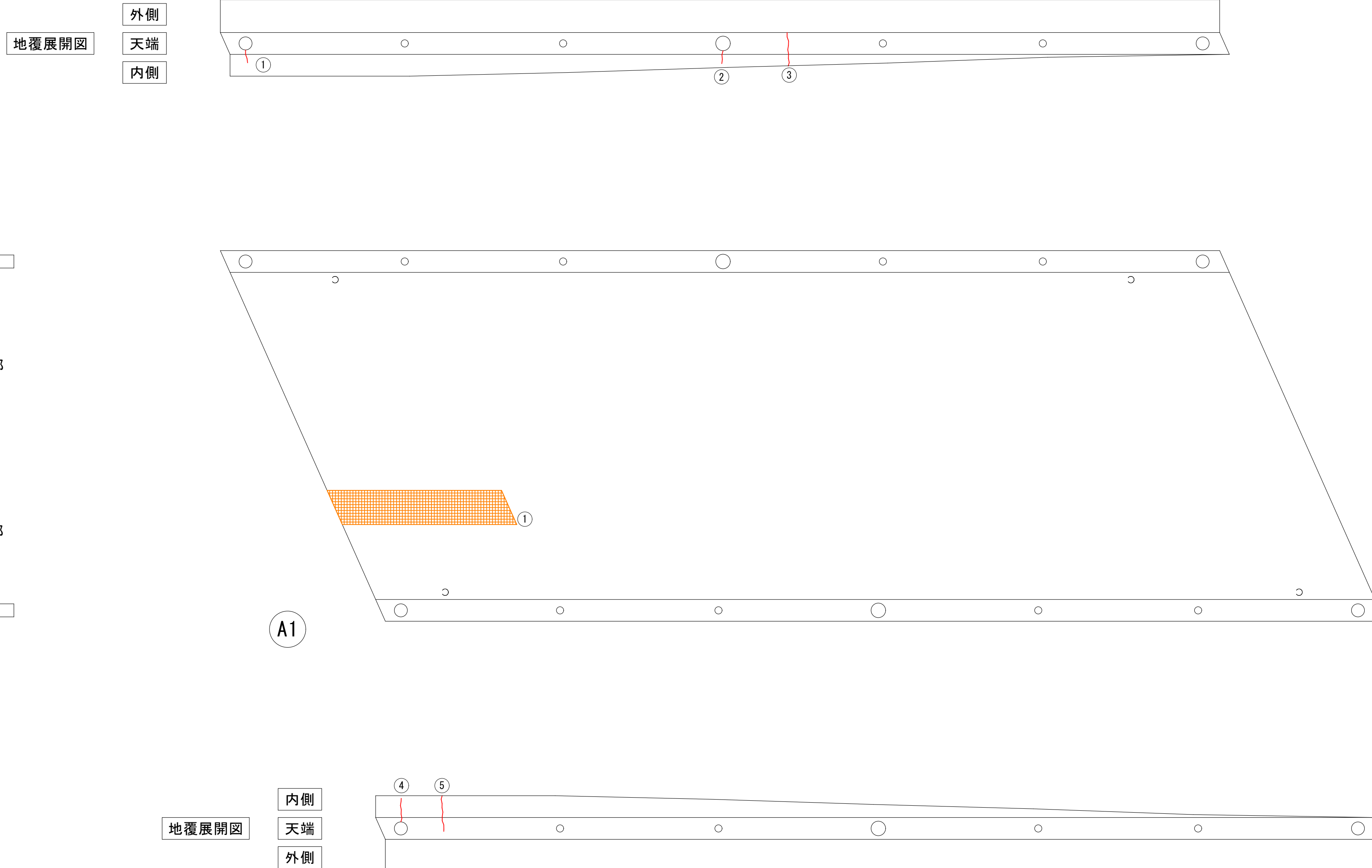
図面番号	第 1 号	図面総数	第 7 葉
工事名称	板東阿部線1号橋橋梁補修工事		
図名	補修一般図 縮尺(A1) 各図記載		
製作年月	令和5年8月	所属年度	令和5年度
	課長	副課長	係長 係員 設計・製図 照査
係員			
鳴門市 都市建設部 土木課			

補修詳細図(その1) S=1:40

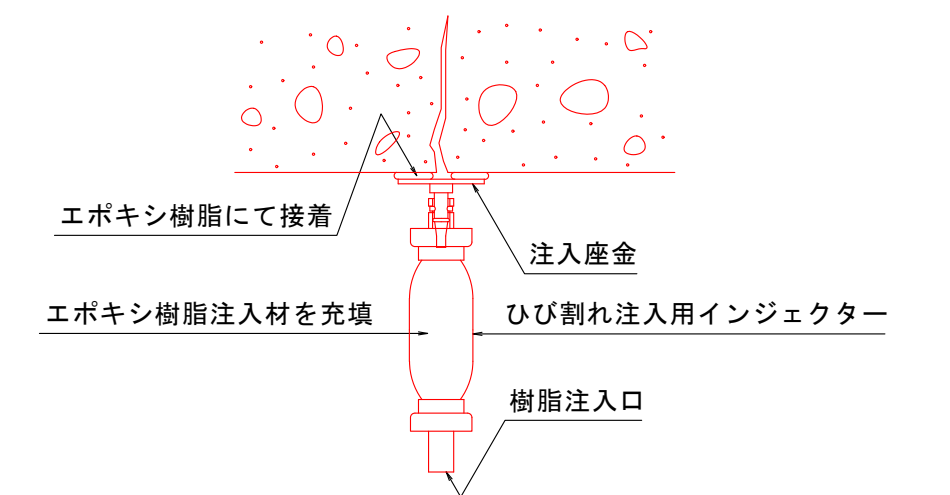
橋面

左岸

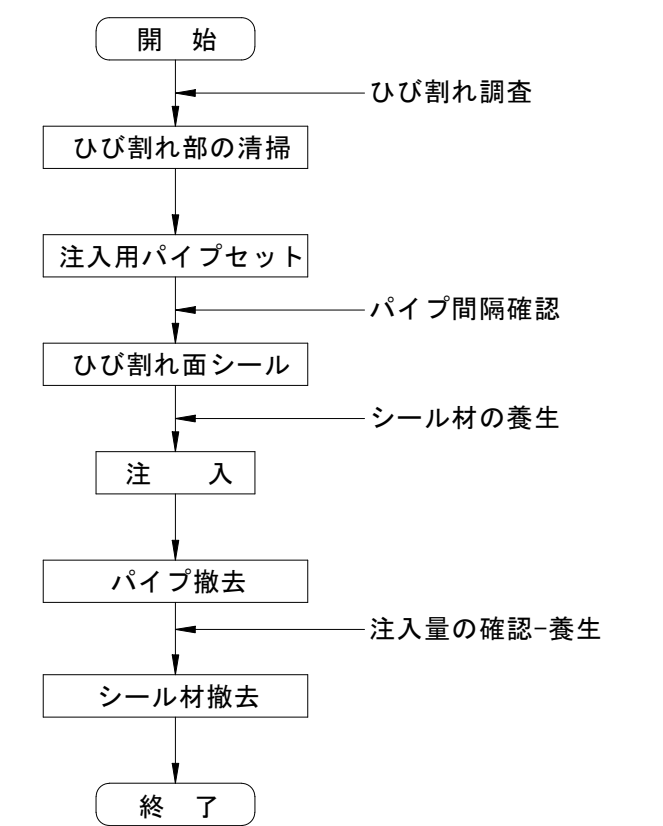
右岸



ひびわれ注入工詳細図



〔ひび割れ注入工法の施工要領〕



注) 施工時に現地実測の上、数量を確定すること。
 注) 規格は、エポキシ樹脂注入材 1種(下部工)、3種(上部工)同等品を推奨とする。
 注) 基本的にひび割れ幅0.2~1.0mm以下を対象にひびわれ注入による補修とする。
 注) 遊離石灰部は研掃して状態を見極めて、補修すること。
 注) 損傷状況により補修工法に変更が生じる場合は、監督員と協議の上、最終決定すること。

〔補修工法一覧表〕

損傷	補修工法
ひび割れ幅0.2mm未満	—
ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満	ひび割れ注入工
ひび割れ幅1.0mm以上	ひび割れ充填工
遊離石灰	ひび割れ充填工
剥離・鉄筋露出	断面修復工
うき・豆板	断面修復工

凡	例
ひびわれ	
うき	
剥離	
鉄筋露出	
遊離石灰	
豆板・空洞	
漏水・滞水	

注) 足場架設後に現地実測の上、数量を確定すること。
 注) 基本的に0.2mm以上のひび割れを補修対象とする。
 注) 遊離石灰を伴う箇所は、要調査の上で補修すること。
 遊離石灰により、注入が困難な場合はUカット工法(もしくはVカット工法)で取り除き、ポリマーセメントモルタル埋戻しによる充填工法に変更し補修すること。

ひびわれ延長(注入工)

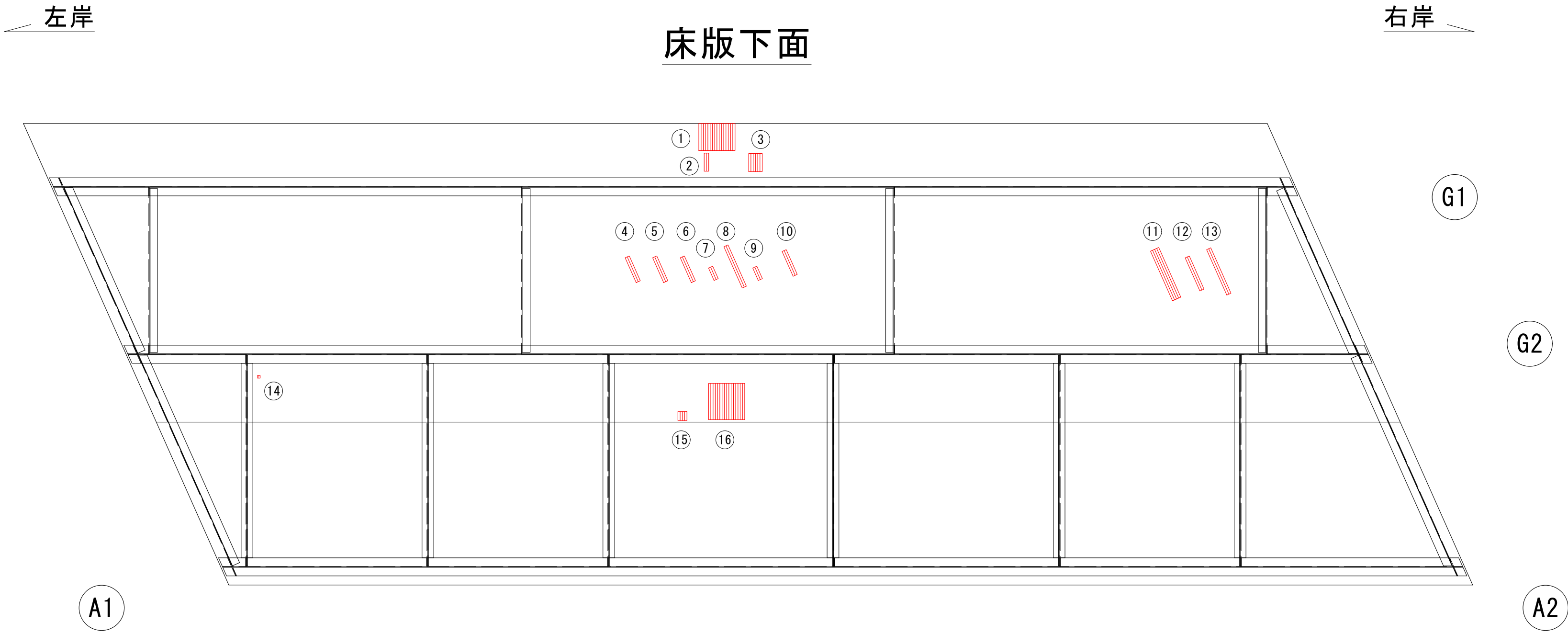
部材	No.	種別	幅 W 【mm】	延長 L 【mm】
地覆0101	1	ひびわれ	0.2	180
地覆0101	2	ひびわれ	0.2	180
地覆0101	3	ひびわれ	0.2	470
地覆0201	4	ひびわれ	0.2	330
地覆0201	5	ひびわれ	0.2	500

断面修復面積(左官工法)

部材	No.	種別	幅 W 【mm】	延長 L 【mm】	深さ t 【mm】	面積 A 【m2】	体積 V 【m3】
床版0101	1	うき	370	2400	50	0.8880	0.0444

図面番号	第 2 号	図面総数	第 7 葉
工事名称	板東阿部線1号橋橋梁補修工事		
図名	補修詳細図(その1)	縮尺(A1)	各図記載
製作年月	令和5年8月	所属年度	令和5年度
係員	課長	副課長	係長
	係員	設計・製図	照査
鳴門市 都市建設部 土木課			

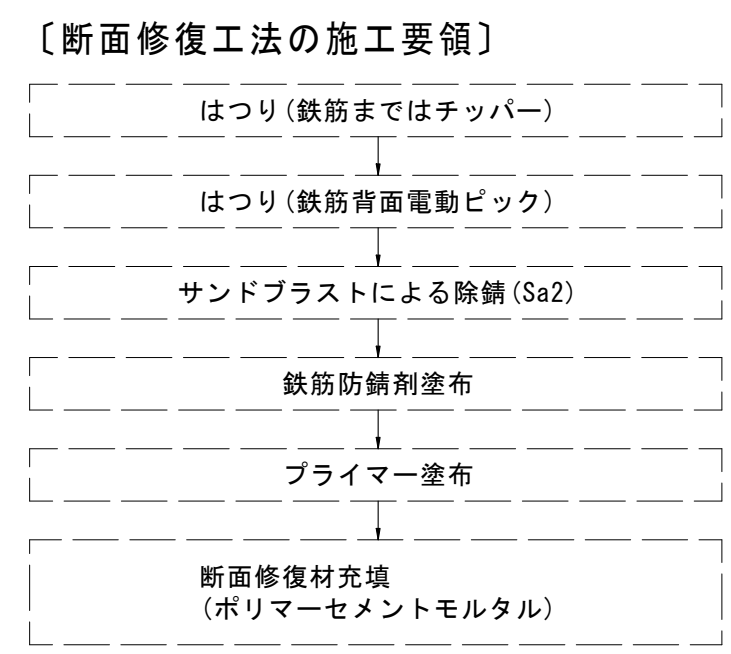
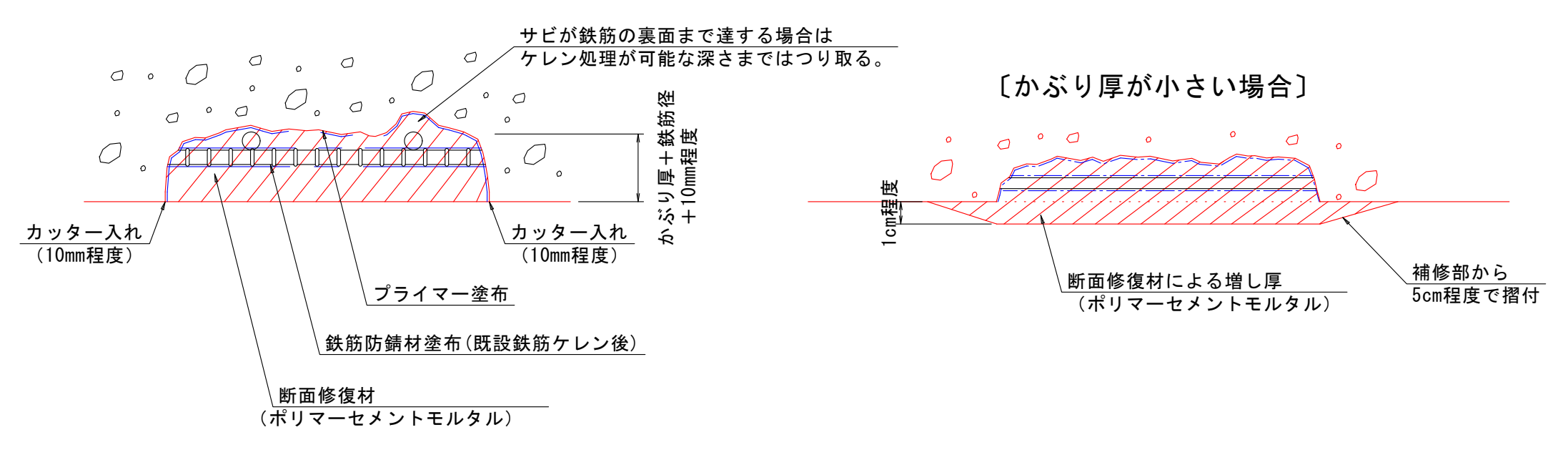
補修詳細図(その2) S=1:40



断面修復面積(左官工法)

部材	No.	種別	幅 W [mm]	延長 L [mm]	深さ t [mm]	面積 A [m ²]	体積 V [m ³]
床版0101	1	剥離・鉄筋露出	400	300	50	0.1200	0.00600
床版0101	2	剥離・鉄筋露出	200	50	50	0.0100	0.00050
床版0101	3	剥離・鉄筋露出	200	150	50	0.0300	0.00150
床版0203	4	剥離・鉄筋露出	300	50	50	0.0150	0.00075
床版0203	5	剥離・鉄筋露出	300	50	50	0.0150	0.00075
床版0203	6	剥離・鉄筋露出	300	50	50	0.0150	0.00075
床版0203	7	剥離・鉄筋露出	150	50	50	0.0075	0.00038
床版0203	8	剥離・鉄筋露出	500	50	50	0.0250	0.00125
床版0203	9	剥離・鉄筋露出	150	50	50	0.0075	0.00038
床版0203	10	剥離・鉄筋露出	300	50	50	0.0150	0.00075
床版0204	11	剥離・鉄筋露出	600	100	50	0.0600	0.00300
床版0204	12	剥離・鉄筋露出	400	50	50	0.0200	0.00100
床版0204	13	剥離・鉄筋露出	550	50	50	0.0275	0.00138
床版0302	14	剥離・鉄筋露出	30	30	50	0.0009	0.00005
床版0304	15	剥離・鉄筋露出	100	100	50	0.0100	0.00050
床版0304	16	剥離・鉄筋露出	400	400	50	0.1600	0.00800

断面修復工詳細図



〔補修工法一覧表〕

損傷	補修工法
ひび割れ幅0.2mm未満	-
ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満	ひび割れ注入工
ひび割れ幅1.0mm以上	ひび割れ充填工
遊離石灰	ひび割れ充填工
剥離・鉄筋露出	断面修復工
うき・豆板	断面修復工

凡例

ひびわれ	
うき	
剥離	
鉄筋露出	
遊離石灰	
豆板・空洞	
漏水・滞水	

- ※ 使用する材料の仕様に基づいて施工すること。
- ※ 補修部縁端は、フェザーエッジが生じないようにカッターで切れ込みを入れること。
- ※ 鉄筋のかぶり厚が薄い場合は、ポリマーセメントモルタルで10mm以上は確保するように盛ってすり付ける形で断面修復を行うこと。施工時の番線等の残数は可能な限り撤去して断面修復すること。
- ※ はつり深さは適宜調整するものとし、脆弱部は完全に除去して充填を行うこと。
- ※ 鉄筋がある場合は、既設鉄筋の背面、既設部材の粗骨材寸法程度まで除去する。(10~20mm程度)
- ※ 豆板部で粗骨材が露出している部分においては脆弱部ははつり取り、健全部を露出してポリマーセメントモルタル等を塗布や充填して復旧すること。
- ※ はつりを行い、鉄筋が確認された場合は錆を除去した後、鉄筋防錆剤を塗布すること。

注) 鉄筋腐食抑制効果が認められる材料を使用すること。

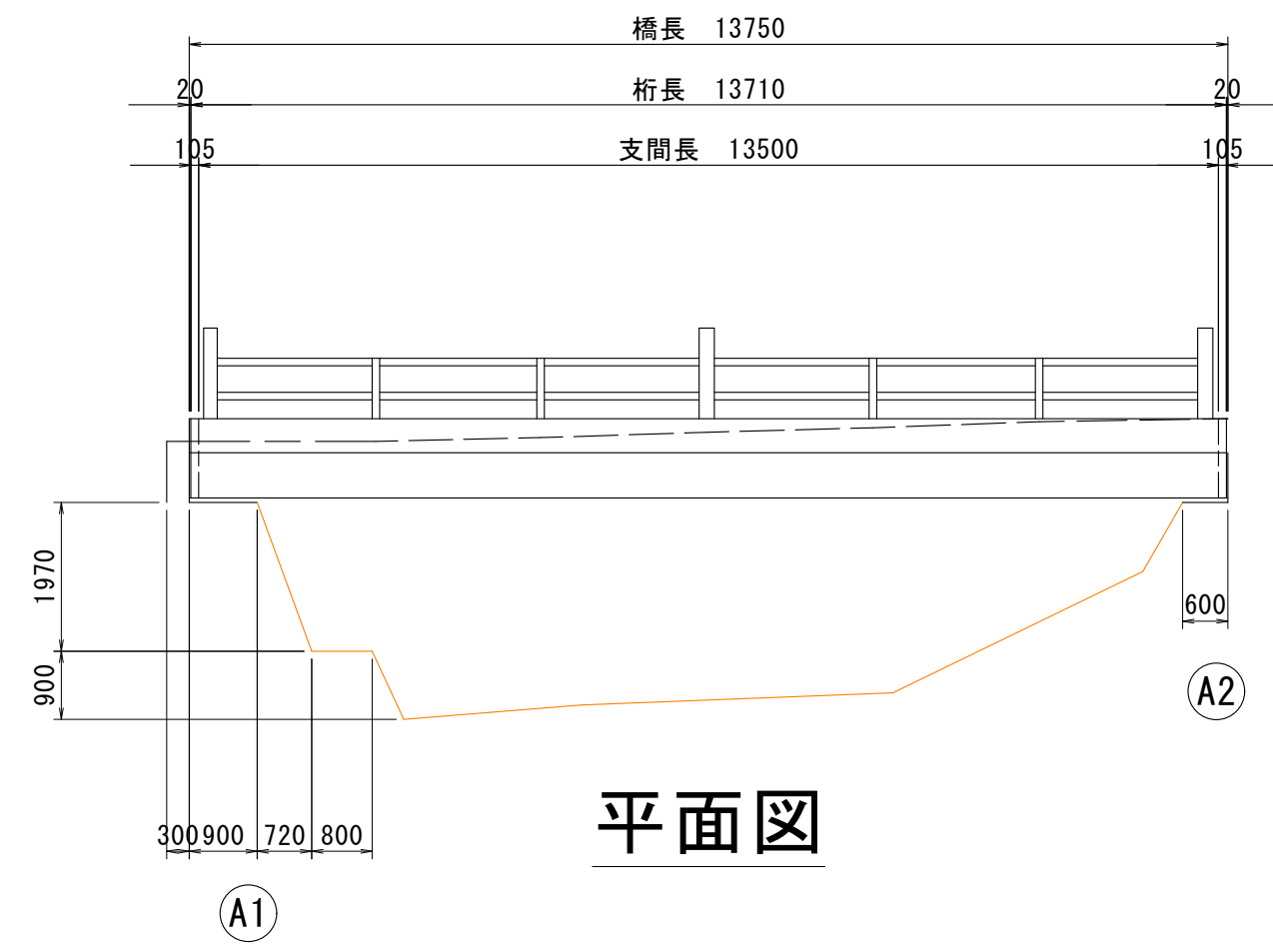
注) 足場架設後に現地実測の上、数量を確定すること。
 注) 基本的に0.2mm以上のひび割れを補修対象とする。
 注) 遊離石灰を伴う箇所は、要調査の上で補修すること。
 遊離石灰により、注入が困難な場合はUカット工法(もしくはVカット工法)で取り除き、ポリマーセメントモルタル埋戻しによる充填工法に変更し補修すること。

図面番号	第 3 号	図面総数	第 7 葉
工事名称	板東阿部線1号橋橋梁補修工事		
図名	補修詳細図(その2)	縮尺(A1)	各図記載
製作年月	令和5年8月	所属年度	令和5年度
係員	課長	副課長	係長
	係員	設計	製造
鳴門市 都市建設部 土木課			

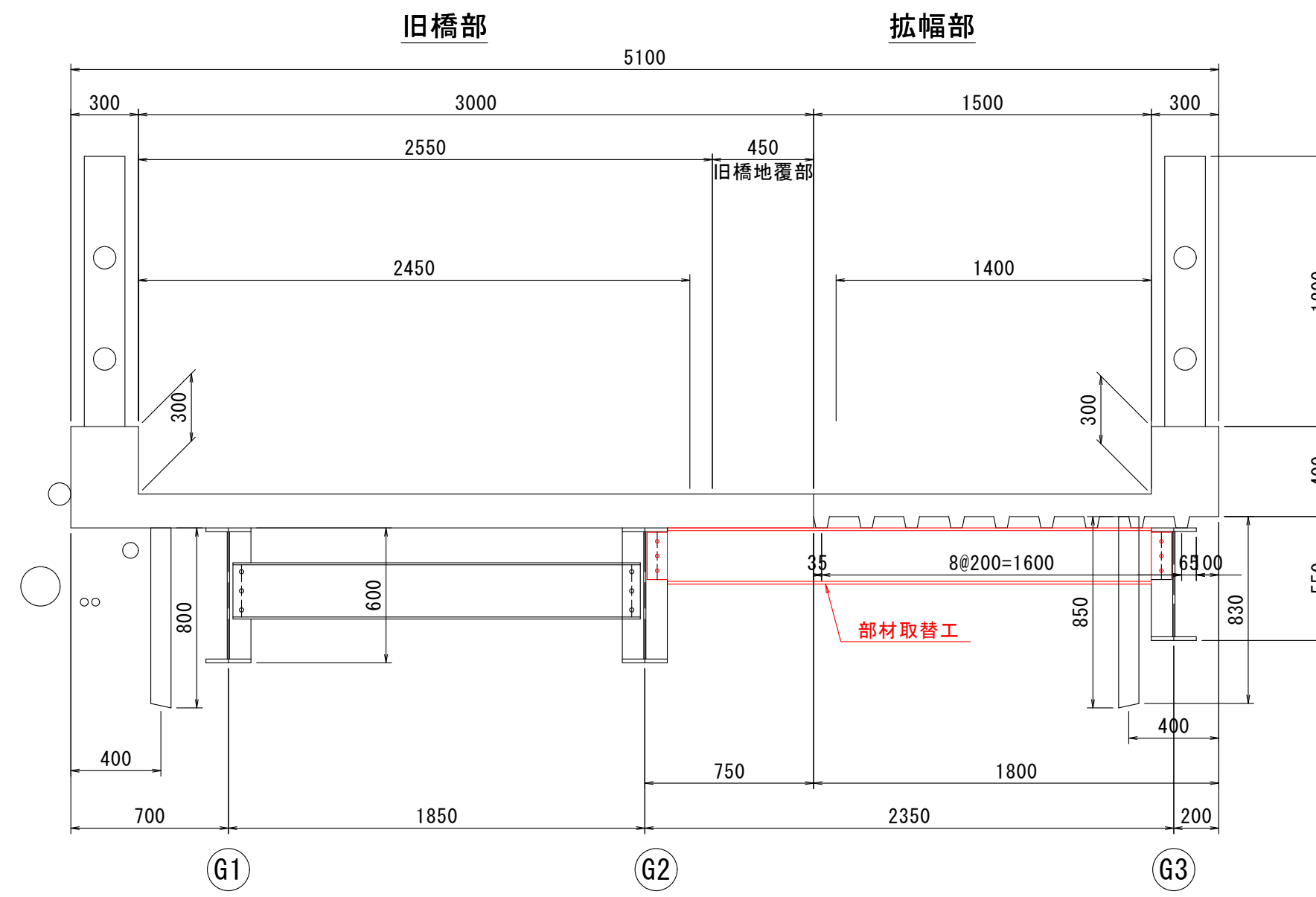
補修詳細図(その3) S=1:20

部材取替工・沓座モルタル補修工

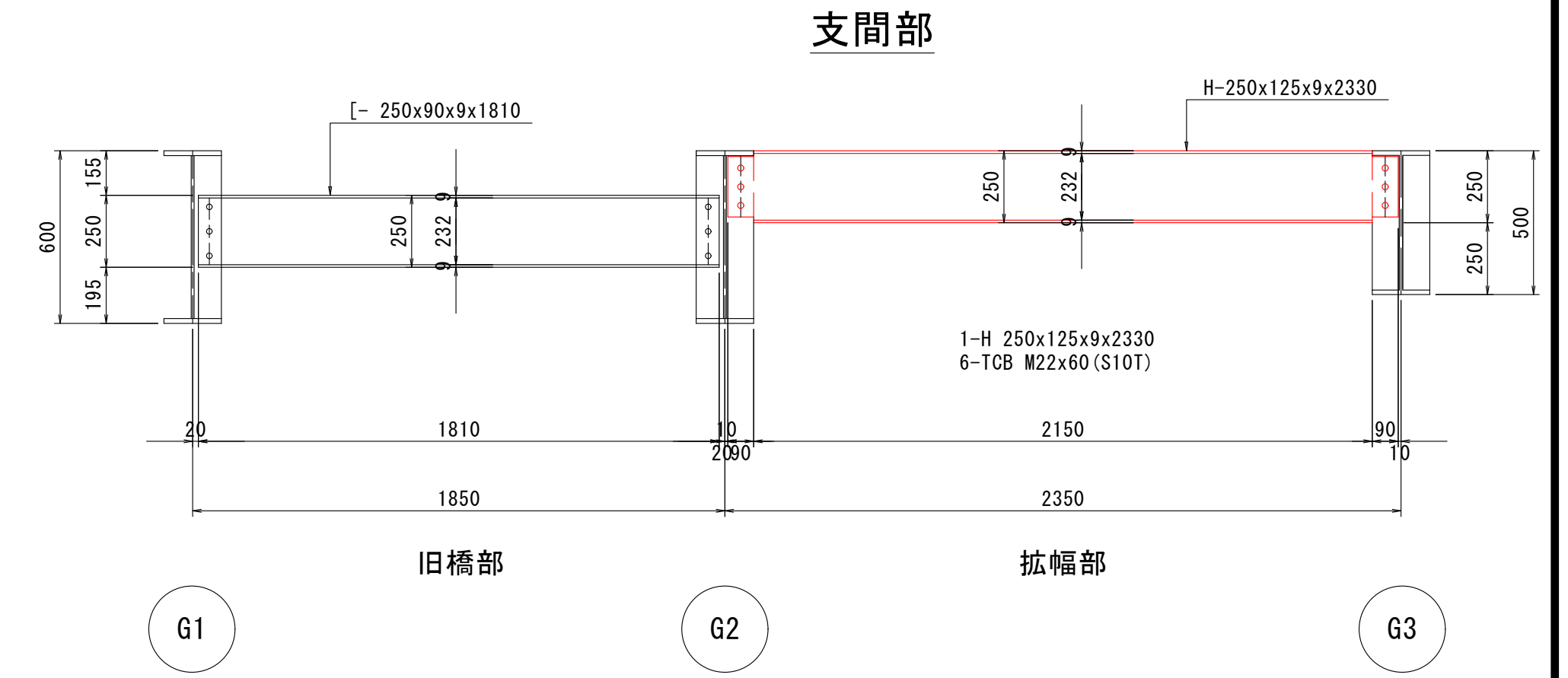
至 左岸 側面図 至 右岸



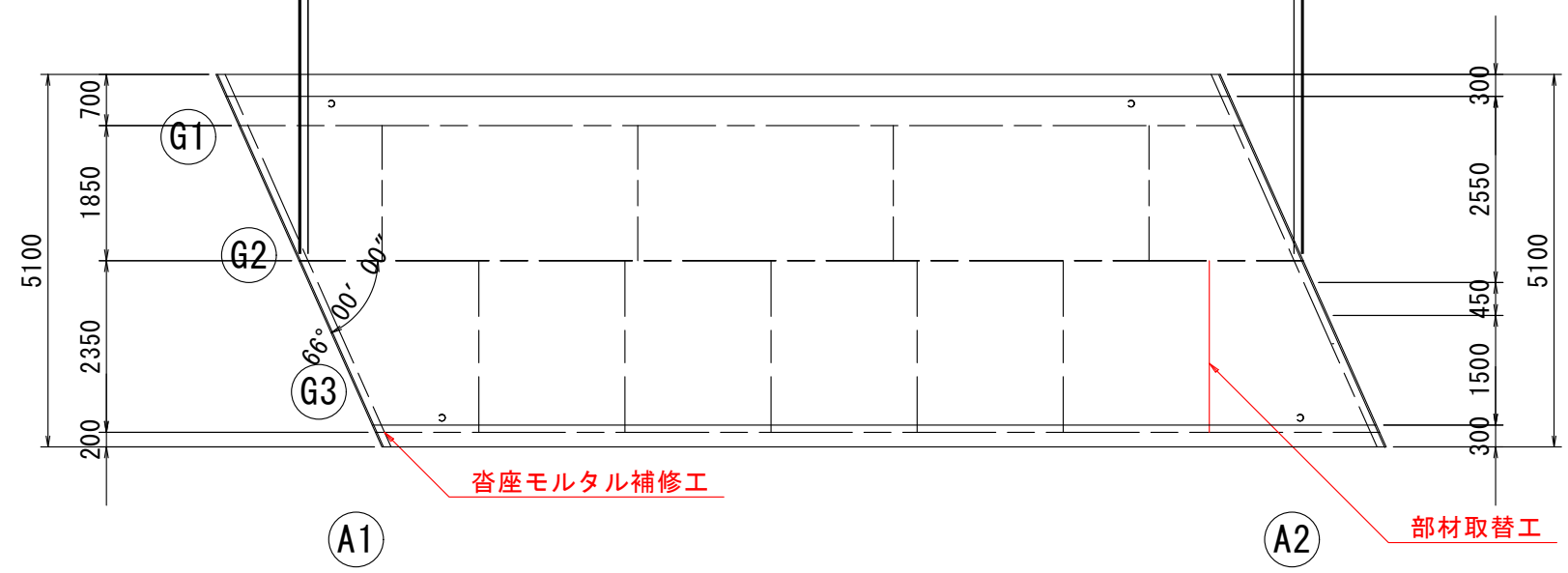
断面図 S=1:25



部材取替工詳細図 S=1:20

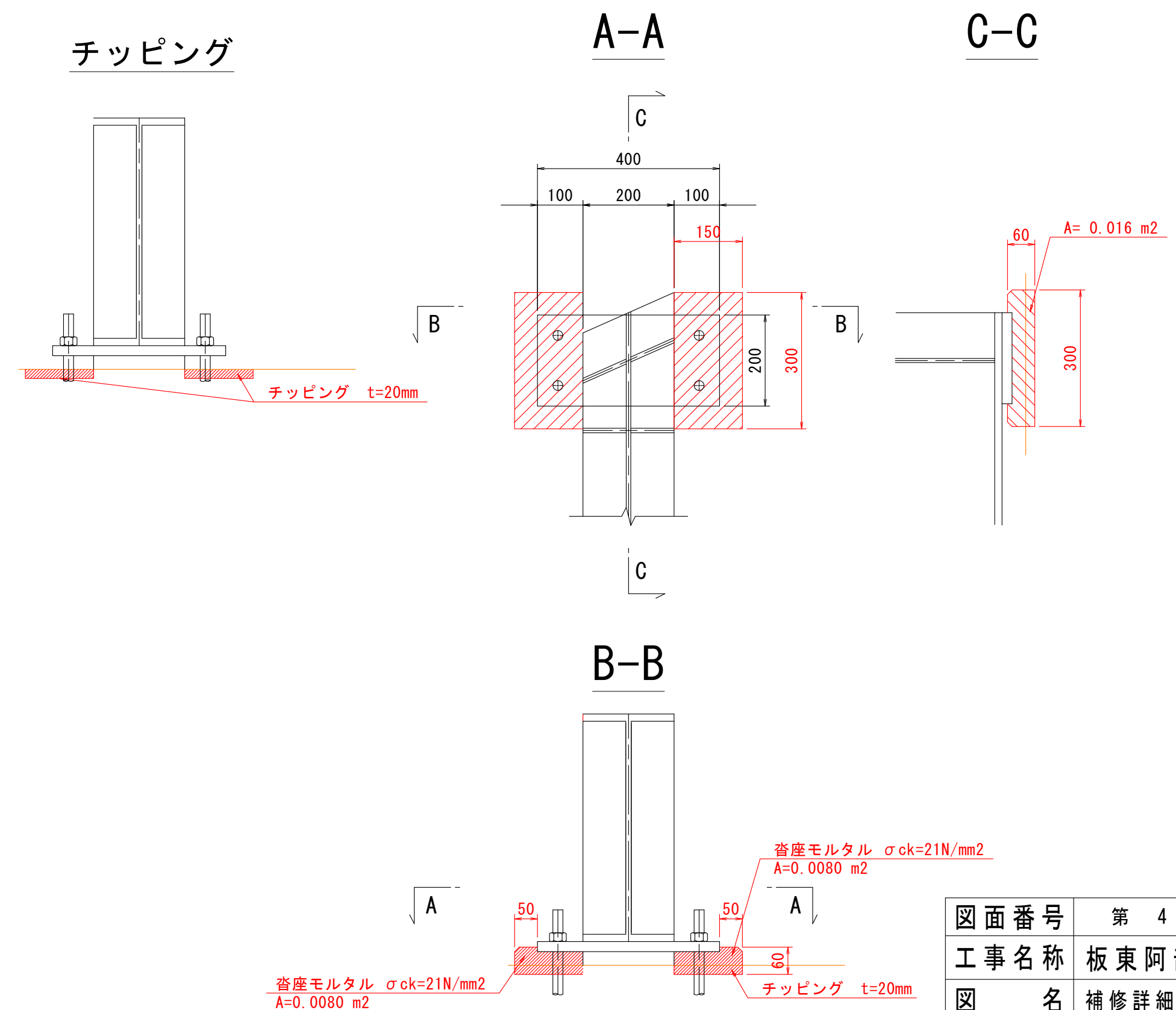


至 左岸 至 右岸



沓座モルタル補修工 S=1:10

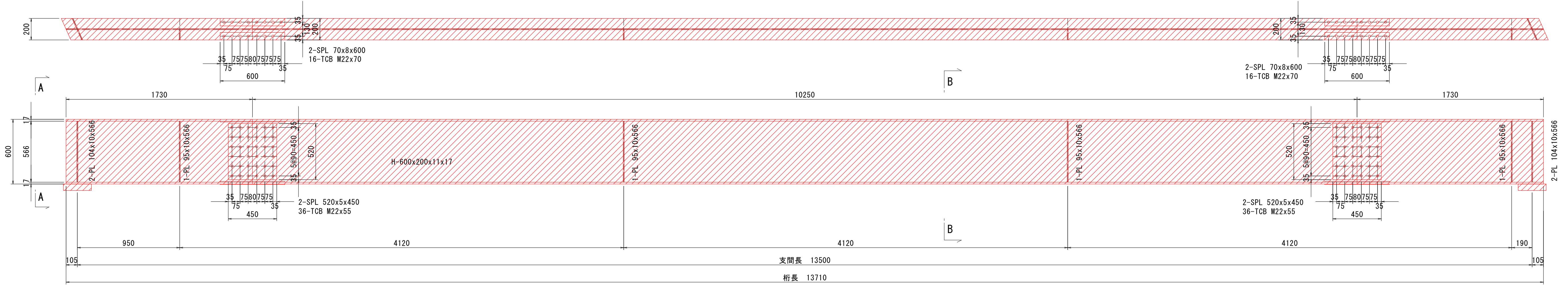
沓座モルタル打換



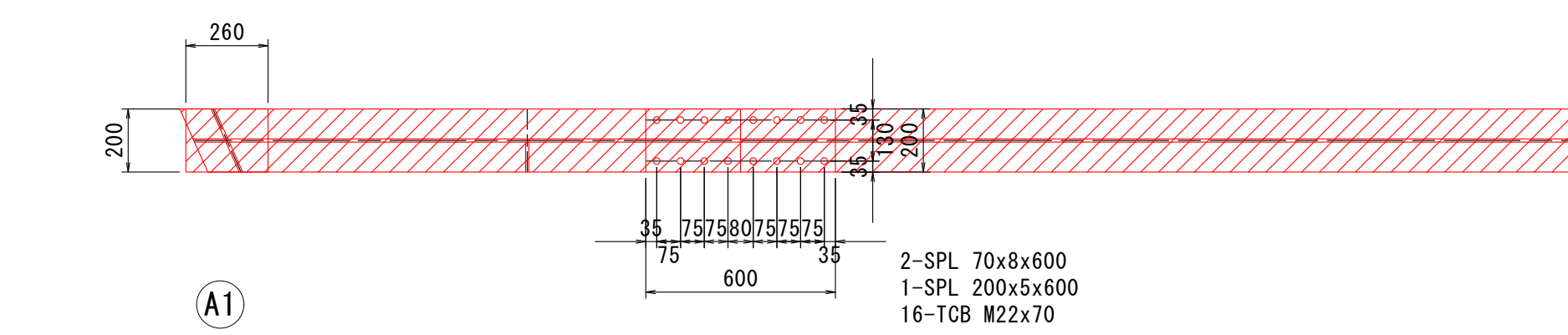
注1) 近隣住民への説明を十分行うこと。

図面番号	第 4 号	図面総数	第 7 葉
工事名称	板東阿部線1号橋橋梁補修工事		
図名	補修詳細図(その3) 縮尺(A1) 各図記載		
製作年月	令和5年8月	所属年度	令和5年度
係員	課長	副課長	係長 係員 設計・製図 照査
鳴門市 都市建設部 土木課			

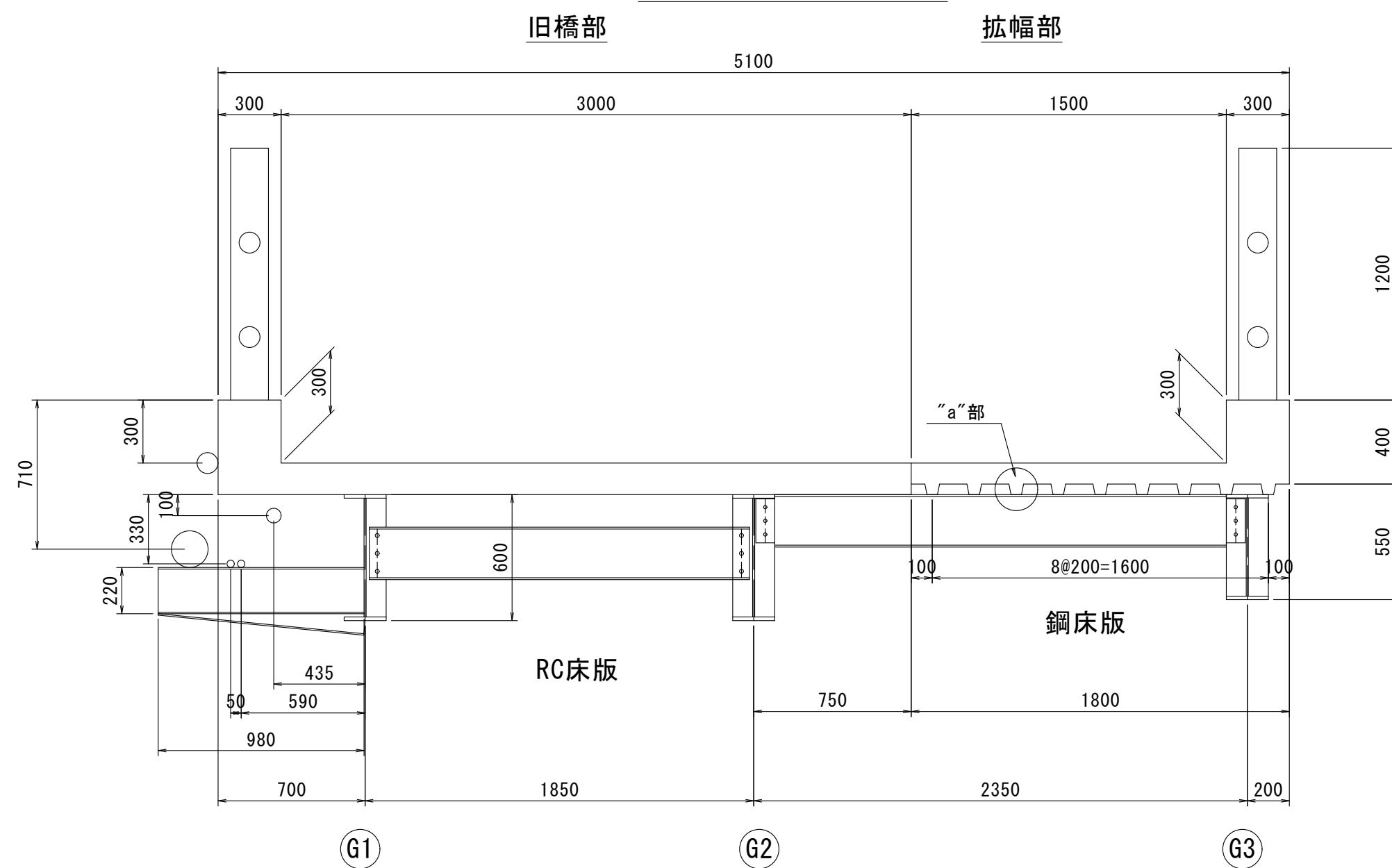
塗替塗装詳細図(その1) S=1:50



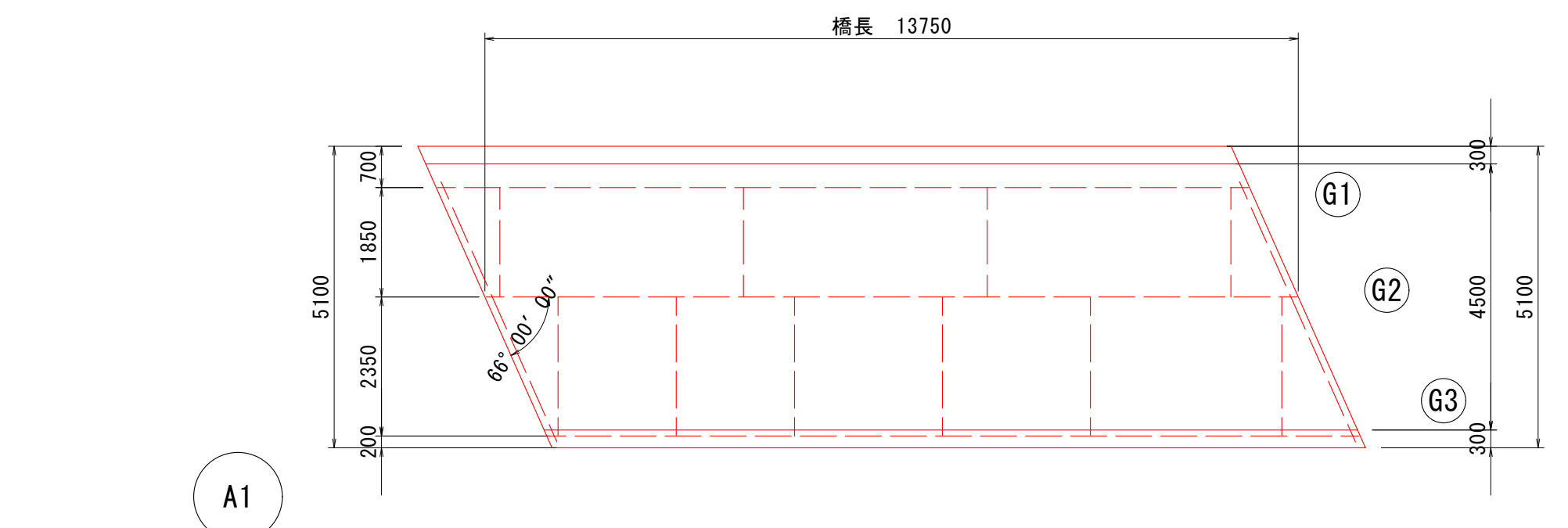
横桁詳細図



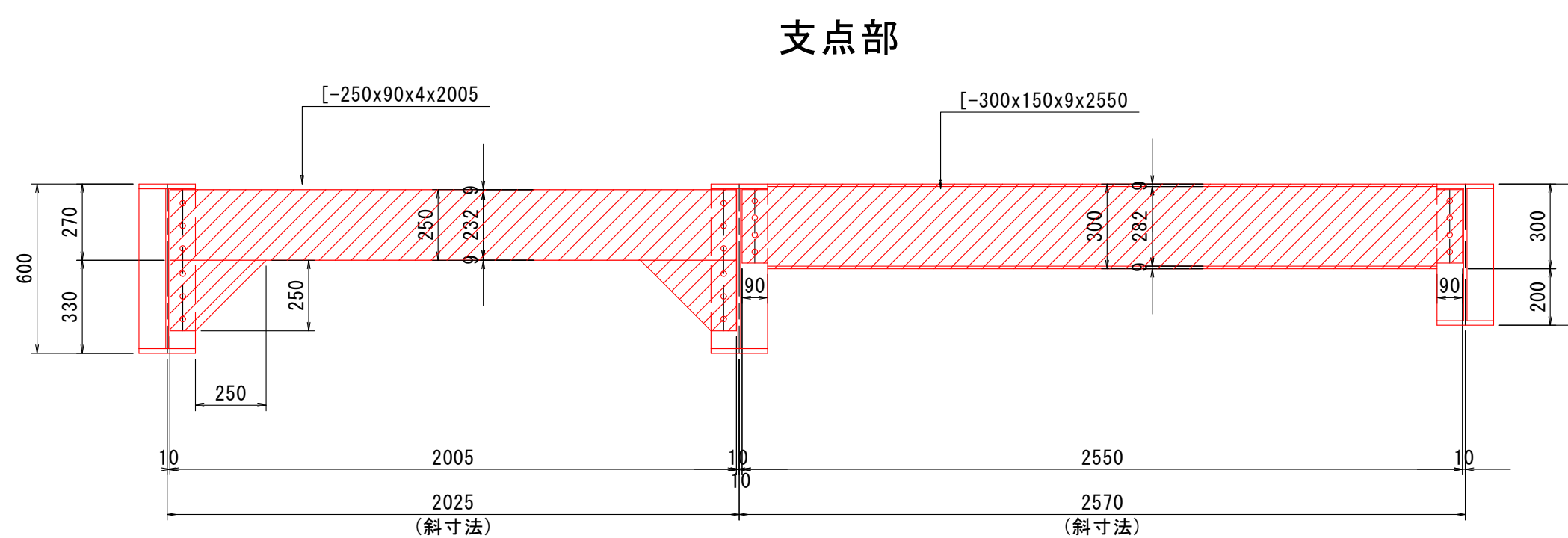
断面図 S=1:25



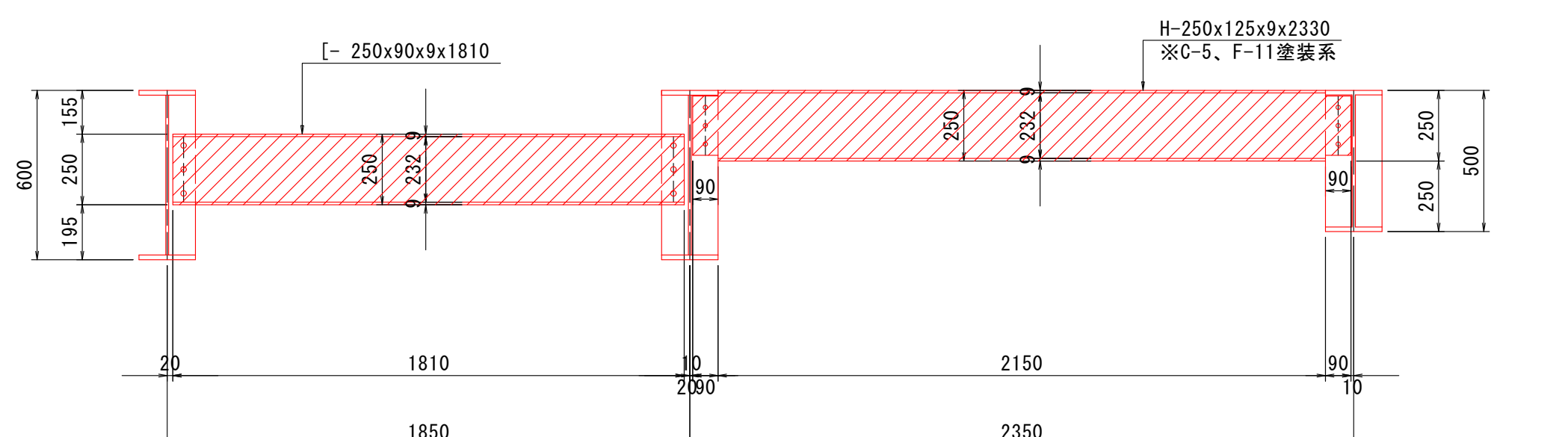
平面図 S=1:100



"a"部詳細図 S=1:6

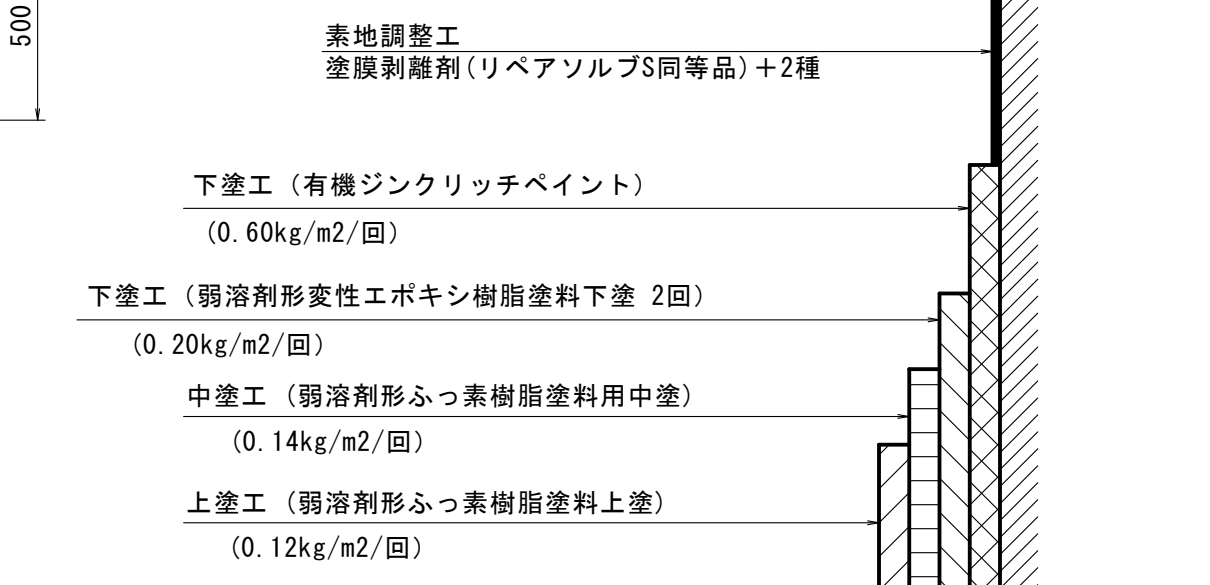


RC床版 鋼床版



RC床版 鋼床版

塗装塗替要領



仕様一覧 (Rc-II 塗装系)

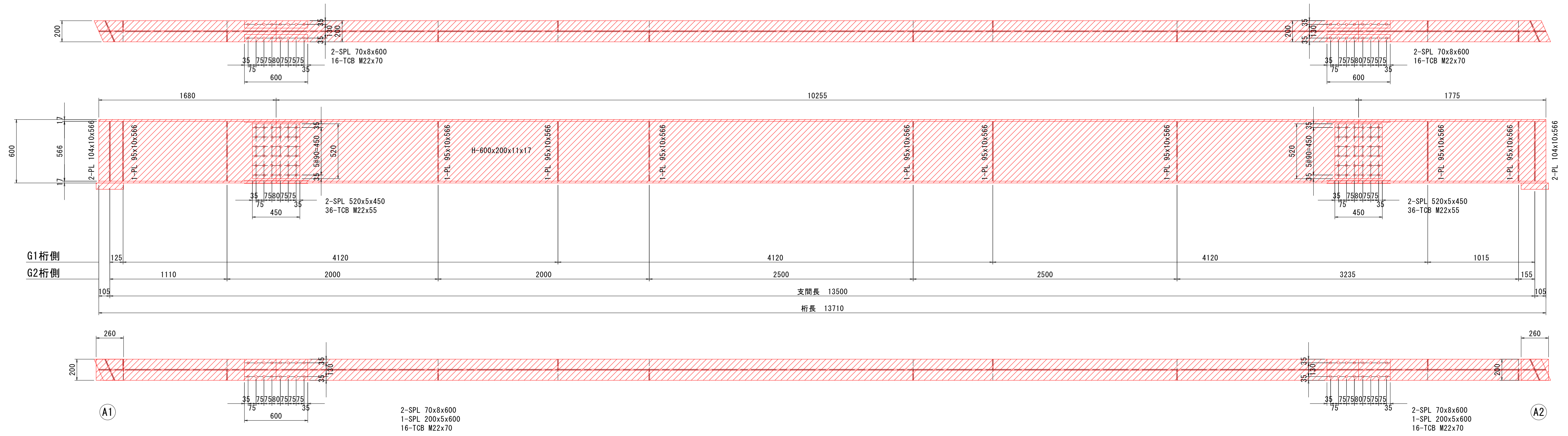
塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	塗膜剥離剤(リベアソルブS同等品)+2種		4時間以内
下塗	有機ジンクリッチペイント	600	1日~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日~10日
中塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料中塗	140	1日~10日
上塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料上塗	120	1日~10日

- ※留意点
- 本橋梁は設計図書及び完成図書が存在せず、現地寸法計測により作図している。
 - 工事の際には、足場設置後に寸法計測を行い、相違が無いことを確認すること。
 - 本橋梁は塗膜調査の結果、鉛が含まれているため、塗膜剥離剤+2種ケレンによる素地調整を行う。
 - 剥離剤は塗料との相性により剥離時間が異なるため、施工時に試験を行い、最適な材料を選定することが望ましい。
 - 部材取替を行った箇所については、工場製作となるため一般外面の塗装仕様 C-5 塗装系とし、高力ボルト連結部はF-11(一般部塗装系C-5)とする。

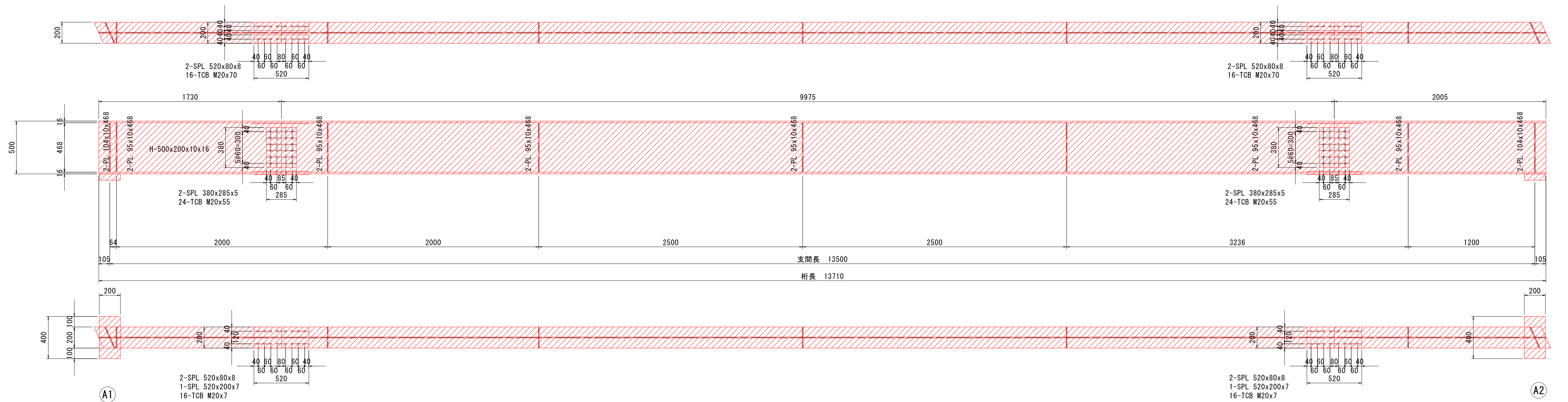
図面番号	第 5 号	図面総数	第 7 葉
工事名称	板東阿部線1号橋梁補修工事		
図名	塗替塗装詳細図(その1) 縮尺(A1) 各図記載		
製作年月	令和5年8月	所属年度	令和5年度
係員	課長	副課長	係長 係員 設計・製図 照査

塗替塗装詳細図(その2) S=1:50

主桁詳細図(G2桁)



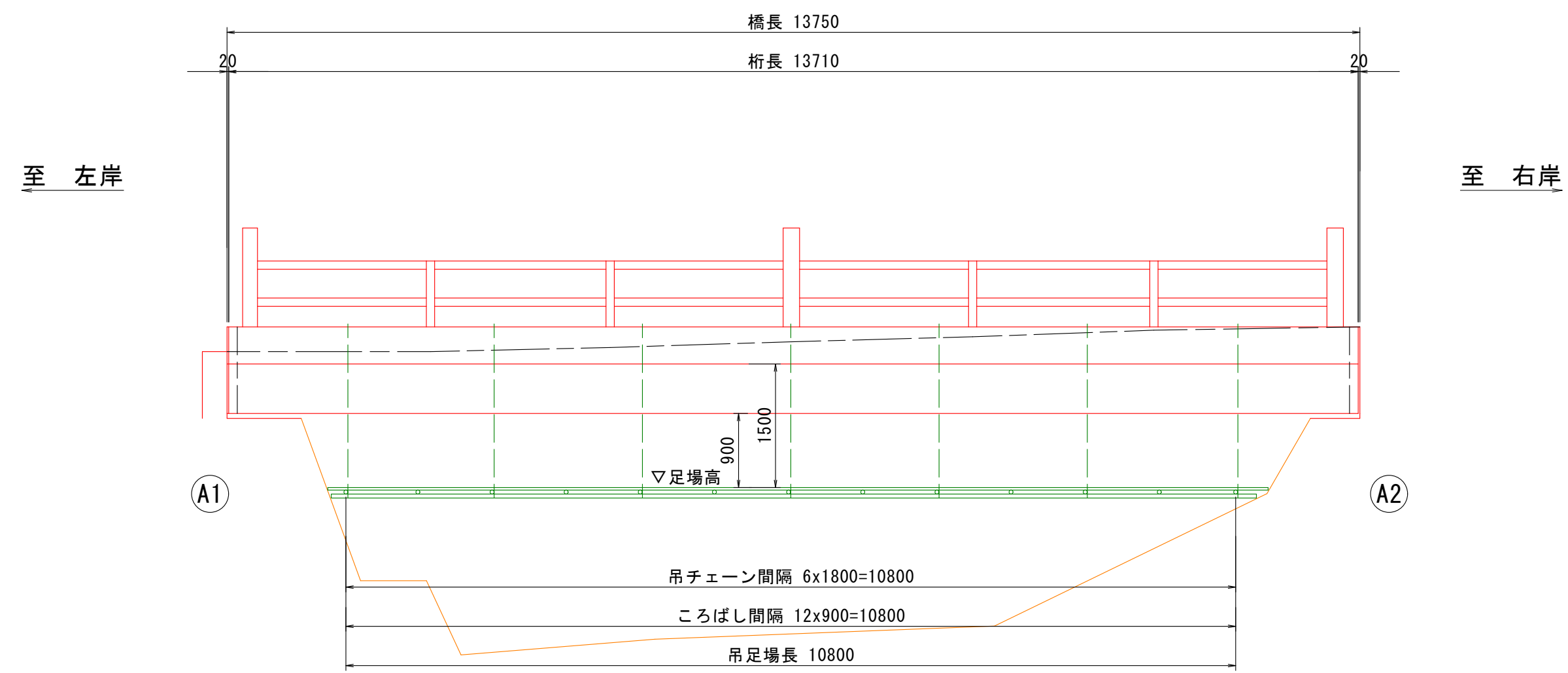
主桁詳細図(G3桁)



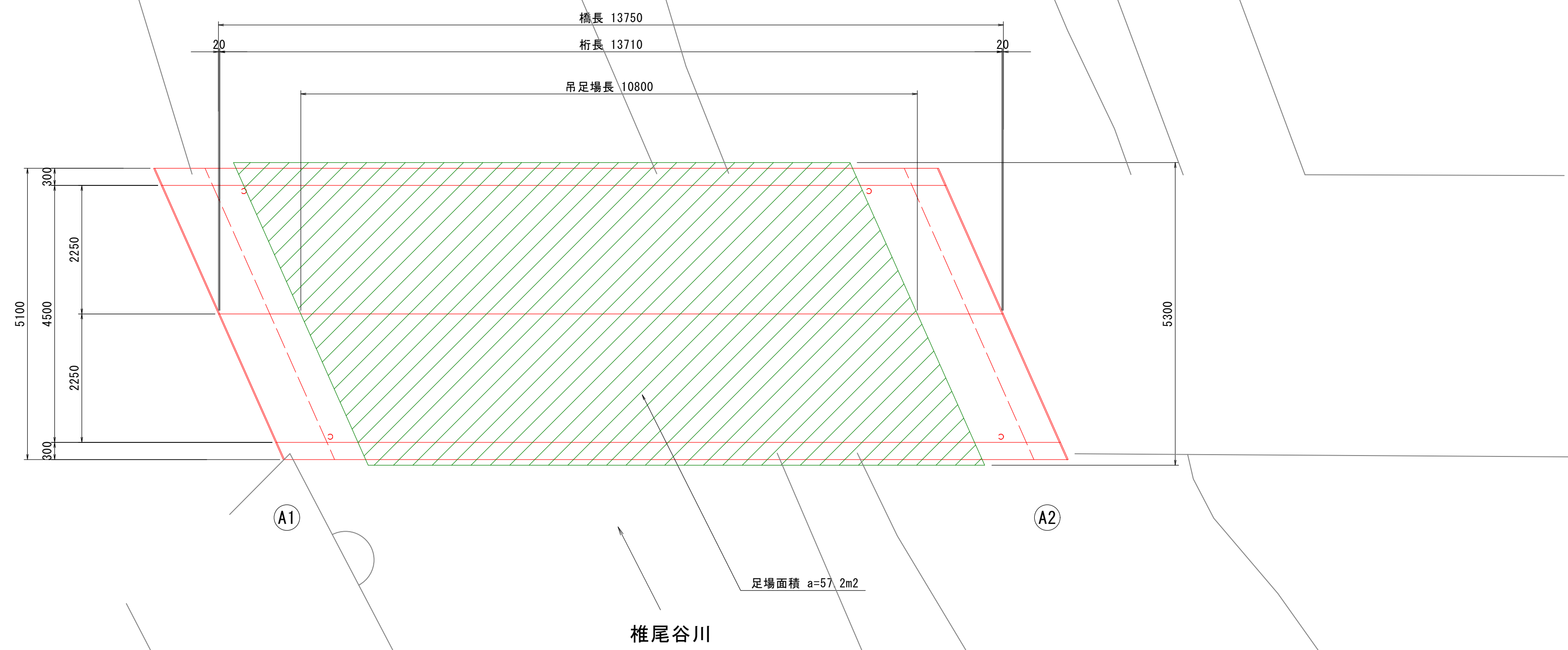
図面番号	第 6 号	図面総数	第 7 葉
工事名称	板東阿部線1号橋橋梁補修工事		
図名	塗替塗装詳細図(その2) 縮尺(A1) 各図記載		
製作年月	令和5年8月	所属年度	令和5年度
係員	課長	副課長	係長 係員 設計・製図 照査
	鳴門市 都市建設部 土木課		

施工要領図 S=1:60

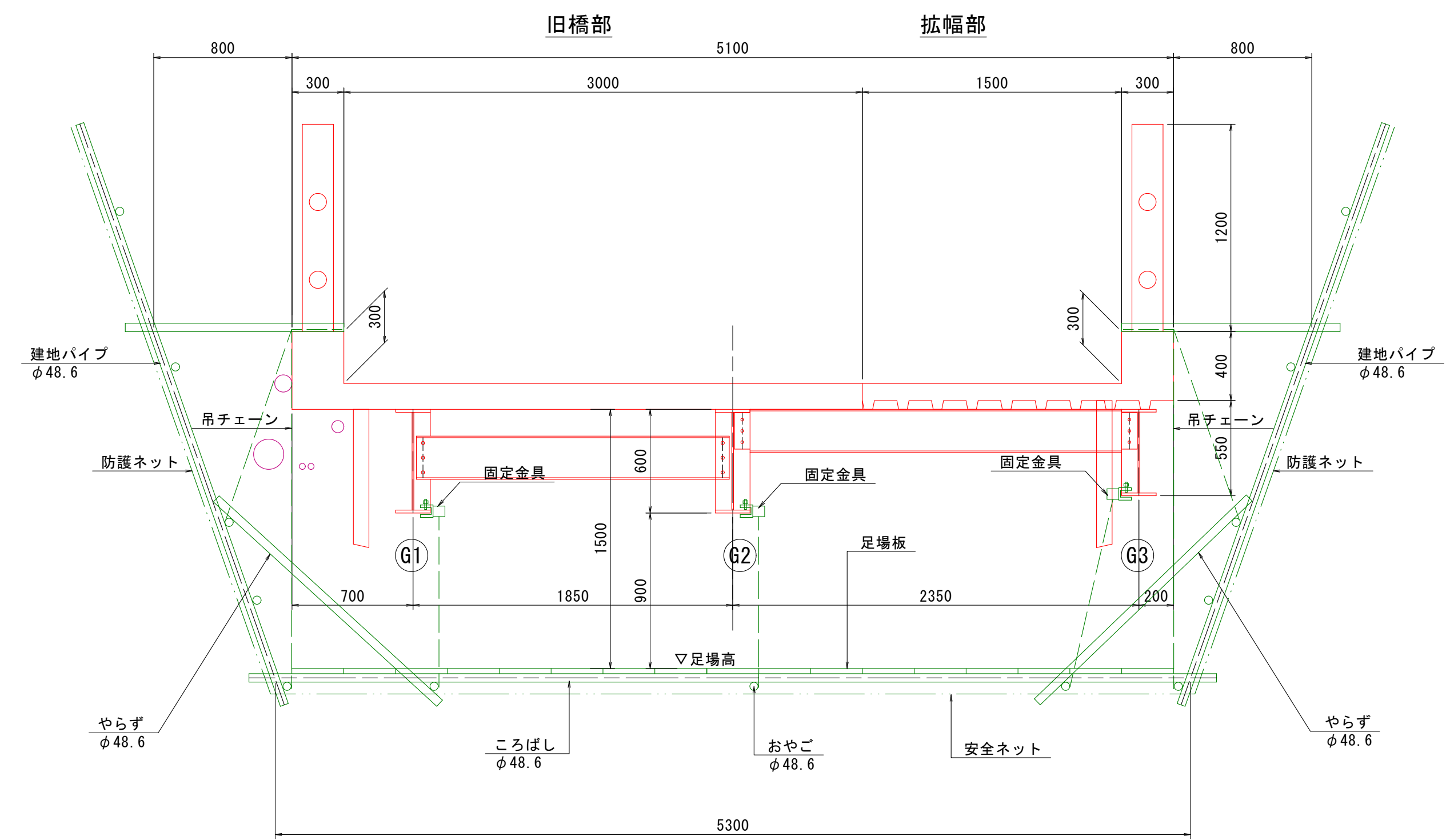
側面図



平面図



断面図 S=1:25



図面番号	第 7 号	図面総数	第 7 葉
工事名称	板東阿部線1号橋橋梁補修工事		
図名	施工要領図	縮尺(A1) 各図記載	
製作年月	令和5年8月	所属年度	令和5年度
係員	課長	副課長	係長 係員 設計・製図 照査
鳴門市 都市建設部 土木課			